

# 進取 自律

豊崎中学校  
校訓 昭和45年～

令和元年8月22日(木)  
第8号  
文責 前田篤志



## 二学期始業式 式辞

三十三日間の夏休みが終わり、今日から二学期がスタートしました。

自分のペースで生活していた日々は、今日から学校のペースへと戻ることになります。頭と体と心の切り替えはできているでしょうか。

さて、二学期の始めに当たり、生徒諸君及び全ての先生方に対して、今学期目指す方向をお話します。それは、「創造」ということです。

創造とは、新たに創ること。新しいものを造りはじめること、という意味です。

振り返れば、一学期は三年生を中心として、今までどおりの学校の在り方に対して疑問を抱き、昨年までの形を踏まえつつも、自分たちならではの学校とするべく、挑戦してきました。修学旅行や運動会、市中体等の行事や校外での活動、全校給食・全校話し合い等の自治的活動において、その成果は目を見張るものがありました。改めてみんなに感謝します。

与えられたものを与えられたとおりに間違いなく行うことがよい、という価値観に、私は疑問をもっています。

行事にしても、話し合い活動にしても、何をもって成功したと言えるのか。私は、生徒全員が、目標を達成させるために、示された一定の条件のもとで知恵を出し合い最適解を求めて話し合っ取り組む過程こそが最も重要であると考えています。物事の結果だけを気にするより、今やれること、今やるべきことに全力を尽くすことに、目を向けてほしい。

二学期の豊崎中学校は、一学期以上にどんどん進化していきたい。そのためには、二十九名一人一人が「創造」へ向けた気持ちをしっかりと持つことが大事です。三年生は、全ての中心になり、今までどおり後輩に範を示してほしい。二年生は、リーダーとしての役割を引き継ぎながら、三年生を助け、一年生をしっかりとリードしてほしい。一年生は、自分が学校を創っていくのだという気持ちを強くしっかりとって、先輩を見習い、力をつけてほしい。

長い二学期ではありますが、進取自律をいつも忘れず、楽しみながら、つらい事にも真正面から当たっていく毎日であるよう期待して、式辞といたします。

休み明けのこの時期に、校長として何よりもありがたううれしいのは、生徒が元気に登校してくることです。始業式では、まだ学校生活へのモードにうまく切り替わっていない雰囲気の子も何人か見られましたが、心配することはないだろうと考えています。また、夏休み中、お陰様で生徒の事故及び非行はゼロでした。保護者の皆様及び地域の皆様へ感謝申し上げます。

二学期は12月23日までの長期にわたる期間となります。行事等も多く、生徒の成長著しい期間でもあります。生徒一人一人が自分たちでしっかり考え、見通しをもって物事に取り組んでいけるよう、これからも我々教員は支援していきます。

